

市議会だより

GOJO

発行 五條市議会 編集 議会広報編集委員会
平成30年(2018年)11月1日

No.69



北海道胆振東部地震によりお亡くなりになりました方々に対し、哀悼の意を表しますとともに、被害に遭われました方々に対し、心よりお見舞い申し上げます。

(タイトル「北畠親房公の墓前」(旧賀名生高校跡地) 柵本 行宣氏 撮影 宇智写真クラブ)

五條市議会第3回9月定例会 及び第1回臨時会の概要

平成30年第3回9月定例会は、9月3日に開会、会期を27日までの25日間と決定し、初日に市長から市政の報告と提出議案の説明並びに教育長から教育委員会の点検評価報告を受けました。

本定例会には、五條市土砂等の埋立て等の規制に関する条例の一部改正、平成29年度各会計歳入歳出決算認定、五條市人権擁護委員の候補者推薦などの重要案件が市長から提案されました。

また、議会からは、9名の議員が一般質問を行うとともに、児童虐待防止対策の更なる強化を求める意見書や、確かな未来へ向けた健全な財政運営を求める決議を提出し、それぞれ慎重審議を行い、9月26日に議事日程を終了し閉会しました。

平成30年第1回臨時会は、10月1日に開会、会期を5日までの5日間と決定し、提出議案の説明を受け、議案の審議及び議決を行い、5日に閉会しました。

目次

一般質問	2～10ページ
総務文教常任委員会の報告	11ページ
厚生建設常任委員会の報告	12ページ
決算審査特別委員会の報告	13ページ
表決結果と議決結果	14ページ
意見書・決議ほか	15ページ
議会運営委員会の視察・編集後記ほか	16ページ

一般質問

定例会では、議案に関係なく市の一般事務について質問することができます。これを一般質問といい、以下質問順にその概要をまとめています。



Q: リニューアル中のきすみ館の今後について

A: 現在実施設計に取り組んでおり、高齢者を含む多くの方が集う温泉施設にしてみたい。山口耕司議員

高齢者が外出したくなる「まちづくり」について

山口 愛知県豊明市では、温泉への送迎、商品の配達など民間のサービスを活用し、高齢者が外出しなくなるまちづくりに取り組んでいる。本市においても、温泉事業である「きすみ館」がリニューアル中で、再開を多くの方が楽しみにしている。現状と今後についてお尋ねする。

西吉野支所長 現在、有識者の監修を受け、増築等を含め、実施設計に取り組んでおり、平成32年9月オープンを予定している。

山口 高齢者の方が利用しやすい、健康寿命を伸ばせる取組ができる施設となるのか、また、どのような交通網で行うのかお尋ねする。
西吉野支所長 高齢者を含め、多くの方が集う憩いの場となる温泉施設にしてみ

いたい。

市長公室長 アクセスについて

いは、今後担当部署と連携を取り、利用しやすい交通網を築いてみたい。



(西吉野町 きすみ館)

市長の政治姿勢について

山口 太田市長の2期目がスタートして、3年半が経過しようとしている。市村合併の総仕上げともいうべき新庁舎建設事業を始め、学校適正化事業や花咲寮建設事業など、市長が2期目において取り組んで来た事

業が正念場を迎えようとしている。50年先を見据え、次の世代へとつなぐ市の基盤づくりに取り組んで来た政治姿勢には、敬意と感謝を表すところであるが、改めて、これまでの市政への取組や、今後のまちづくりに対する市長の所見をお伺いする。

市長 郷土五條に対する強い思いと、市民の期待に一杯応えたいという使命感により、全力で市政にまい進してきた。

1期目には、紀伊半島大水害が発生し、被災した大塔町の復旧・復興を最優先とし、「みどり園」の移転やし尿処理施設の建替え、消防や医療の広域化など、多くの課題にスピード感をもって取り組んで来た。

2期目は、福祉、医療、防災、教育の基本施策に取り組んで来た。大変厳しい財政状況の中、今後、新庁舎建設や花咲寮建設、学校適正化、陸上自衛隊駐屯地

誘致活動など、多くの課題はあるが、着実に施策を推進してきた。市が抱える問題の解決に向け、創意工夫を重ね、任期を全うしたい。

山口 本市には多くの行政課題が山積している。来年4月の統一地方選挙で予定されている市長選挙出馬について、市長の考えをお伺いする。

市長 諸課題を解決するとともに、次世代につなぐ、住んで良かったと思えるまちづくりを更に前へと進めていくために、今後も引き続き市政運営に携わってみたい。

その他の質問事項

- 1 地域で支え合う介護について
- ①介護保険と介護給付費の現状について
- ②介護予防・日常生活支援総合事業について
- ③認知症施策の推進について
- ④高齢者の熱中症対策について



Q: 市内幼稚園・小学校のエアコン設置について

A: 早急にしなくてはならないと認識している。教育委員会とも協力して進めてまいりたい。

吉田雅範議員

学校の安全対策について

吉田 今年は記録的な猛暑で健康被害も相次ぎ、学校に空調設備の設置を求める声が高まっている。現在のエアコンの設置状況は。

教育部長 普通教室・特別支援教室等合わせて、幼稚園では2園1教室、小学校では8校53教室、中学校では5校79教室である。

吉田 今後の設置予定は。

教育部長 利用頻度の高い普通教室・特別支援教室について早期の対応が必要と考える。中学校では設置済みであるが、幼稚園では普通教室5室、小学校は普通教室51室、特別支援教室18室について設置を計画しており、国・県の補助制度の活用を図り、早急に各幼稚園、小学校に設置できるように取り組んでまいる。

吉田 春に工事に掛からないと来年度に間に合わないと考えますが、春休みに工事は可能なのか。

市長 全国的に国や県でも

協議が行われており、行政としても、子供たちの対策は早急にしなくてはならないと認識している。教育委員会とも協力して進めてまいりたい。



吉田 大阪府北部地震後、

翌日には学校でのブロック塀の撤去が行われたが、現在は応急的なバリケード等の状態となっている。今後のブロック塀等撤去の復旧工事について尋ねる。

教育部長 市内小・中学校

において調査を行った結果、市内小学校1校、中学校1校で対象となるブロック塀があることが分かり、通学路に面しているブロック塀については撤去工事を行い応急的な処置として仮設フ

エンス・ロープ等の設置を行い、立入禁止区域とし、近づかないように児童・生徒に注意喚起を行っている。残りのブロック塀撤去及び復旧費用については、補正予算議決後速やかに工事を行ってまいりたい。

吉田 通学路に面した民間のブロック塀等の撤去については、費用面等様々な理由があり、強制できるものではない。そこで、通学路に面した民間のブロック塀等の撤去費用にかかる補助金制度を市独自で創設するなどの対応についてお尋ねする。

教育部長 市として先進事例を参考に補助制度の検討を進めてまいりたい。

吉田 前向きな検討をお願いする。

(仮称) 森林環境譲与税について

吉田 地球温暖化防止対策・CO2の削減、森林の荒廃に伴う土砂崩れを防ぐため森林環境税が創設され、平成36年

度に国が住民税に千円を上乗せして徴収することとなっている。(仮称)森林環境譲与税の配分と割当方法の基準についてお尋ねする。

政策企画監 森林環境税が平成36年度に導入予定、森林現場における諸課題の早期対応のため、その全額を森林環境譲与税として市町村及び都道府県に対し新たな森林管理年度の施行と併せ、平成31年度から譲与となっている。

配分は、都道府県に20%、市町村に80%で、段階的にそれぞれ10%、90%へ移行する。また、9割が市有林人工林面積・その他林業就業者や人口で案分することとなっている。

吉田 (仮称)森林環境譲与税の使用用途をお尋ねする。

政策企画監 制度上、森林整備・人材育成等に充てなければならぬが、具体的な内容は今後森林組合と連携を図り検討してまいりたい。

吉田 公平かつ公正な支援をお願いする。



Q: 要望書の取扱いについて

A: 迅速に対応できるように担当課と調整し改善していく。

窪 佳秀議員

要望書について

窪 要望書の取扱いについて伺う。

理事 地域政策課を窓口として、要望の内容により、対応が複数課にまたがる場合は受付後、担当課に写しをつけ、回答期限を定めて期限までに自治会等に回答を行うよう改めている。

窪 要望内容が担当課単独の場合について伺う。

理事 地域政策課では把握していない。要望書は、文書編さん保存規程により保存年数は10年であり、10年以前の要望書は廃棄処分している。

窪 要望者は保存規程により10年で廃棄処分とは知らない。全ての要望書は地域政策課でも管理し、特に、保存年数が切れる前には中間・最終回答を行うのが当然であると思うが、考えを伺う。

理事 担当課で受け付けた要望書は、今後、情報共有を行い迅速に対応できるよ

う調整し改善してまいりたい。

市長 要望書は、地元の状況や市への意見・改善についてのお願いを伝える重要な手段である。内容により予算措置、長期に検討が必要なものがあることから優先順位を決め、緊急性の高いものから対応していく。

公立小・中学校の施設安全対策について

窪 小・中学校の猛暑対策について伺う。

教育部長 小学校では、玄関や廊下等へのミスト装置、教室には扇風機を設置、中学校では、エアコンを活用している。今後、小学校の教室にもエアコン設置に取り組んでいく。

教育部長 教育委員会では、暑さ指数計測器を活用、基準を超える場合、運動の原則禁止、涼しい時間帯に配慮、水分補給を行う等、熱中症事故防止の徹底について各小・中学校に通知を行った。

窪 避難所となっている体育館へのエアコン設置も担当部局と協議し、検討をお願いする。



窪 ブロック塀の倒壊対策について伺う。

教育部長 現在は仮設フェンスで対応している。今後は道路沿い、民地との境界に設置する場合は外から見通せない仕様のフェンスを設置する。

窪 通学路のブロック塀調査に基づく対策について伺う。

教育部長 各学校ごとに児童・生徒へ危険箇所として周知並びに通学について注意喚起を行った。

窪 小学校低学年では、保護者が同伴で通学し周知を行うことにより新たな危険箇所を発見できる場合もある。検討していただきたい。

防災行政について

窪 災害時のドローン活用について伺う。

危機管理監 ドローン災害救援ブルーウィンドと災害時等における無人航空機による情報収集に関する協定書を締結した。今後、災害現場の映像や画像等の情報収集に要請し協力を求める。

窪 小型無人機ドローンは、災害時も含めあらゆる分野で活用でき、国の法的整備も進み、一定の条件の下で航空法の規制緩和が認められている。山間部を抱え、災害時には孤立集落が発生するおそれのある本市にとって、市が所有し、地域に精通した消防団に配備して活用することについて伺う。

危機管理監 広域にわたる災害時には、協定しているブルーウィンドに対して、他団体からの要請も想定されることから、様々な業務への活用が期待できる。市としてドローンを購入することについて勉強していく。